

**【事務事業調査】**

事務事業名	赤ちゃん訪問事業費	予算科目コード	会計-款-項-目-事業 001-04-01-02-003-01-02-〇
担当部課	住民生活部健康福祉課	担当係長	健康づくり係 田中圭子
		事業の分類	既存事業

**■事務事業の概要**

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	<p>H23事後評価</p> <p>訪問成立は258件で88.9%でした。昨年より訪問成立の割合が下がりましたが、里帰りが長期化している場合や家庭への訪問を拒否する場合もあり保健センターでの面接や4か月健診での面接になったケースもありました。対象児全員には連絡をとり状況は把握することができました。訪問後支援が必要であった家庭は36件で12.3%でした。昨年よりやや多くなっています。再度の訪問や乳幼児相談利用で早期から対応することができました。育児不安が強い、家庭環境に不安がある等の場合はこどもみらい課の要保護児童として報告しました。</p> <p>H25事前評価</p> <p>赤ちゃんが生まれた家庭を4か月健診までに全戸訪問します。出産して早い時期に母子の健康状態や家庭環境を知ることにより、困っていることに対する援助やアドバイスをを行い、母子の健やかな生活を促します。出生状況についてハガキを返送してもらい、助産師等が訪問します。家庭から連絡がない場合でも、電話や訪問で様子を伺います。2,500g未満で出生した場合は「未熟児訪問指導・養育医療費助成事業」で対応します。育児不安や家庭環境に不安がある場合はこどもみらい課と共に対応します。</p>	<p>訪問や電話で直接応対することで、母子の健康状態や育児環境を知ることができ、家庭での育児不安や育児ストレス、母親の産後うつに対して早期に支援することができます。育児環境が整うことにより、児の健やかな成長を促します。</p>
実績	/	

**■活動指標**

指標	目標値	達成値	特記事項
訪問実施率	95%	/	長期の里帰りが増えており、電話で連絡がつくものの訪問が成立しない場合もあります。4か月健診では全数把握をしています。

**■事業費(計画)**

【単位:千円】

細 節	金 額	積 算 根 拠
1 賃金	213	看護師@8,490×25日
2 消耗品	45	指導用パンフレット
3 通信運搬費	15	赤ちゃん訪問連絡用ハガキ@50×300枚(未熟児訪問指導と併用)
4 委託料	616	助産師@2,800×220件
5		
6		
7		
8		
	889	

**■事業費(実績)**

【単位:千円】

細 節	金 額	特 記 事 項
1	/	/
2	/	/
3	/	/
4	/	/
5	/	/
6	/	/
7	/	/
8	/	/
	0	

**■事業経費**

		計 画	【千円】	実 績	【千円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額		889	/	/	
	補正予算額		/	/	/	
	流用額		/	/	/	
	予算現額		/	/	/	
決 算	決算額		/	/	/	
財 源	国庫支出金		/	/	/	
	県支出金		/	/	/	
	地方債		/	/	/	
	受益者負担金		/	/	/	
	その他の特定財源		/	/	/	
	計		0	/	/	/
	差引(一般財源)		889	/	/	/